MATSUYAMA CITY
広報 まつやま
平成23年 2011.03.15　No.1194

主な内容

■年金特集……4・5面
■タウンミーティング(北条地区)……2面
■市民ガイド……7～11面
■松山春まつり「お城まつり」……12面

発行:松山市役所／編集:総合政策部広報課／毎月1日・15日　☎948-6705　FAX 934-2578　HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

一人でも多くの人を笑顔に　全国に誇れる、わがまち松山

「だから、ことば」絆入選25点

応募1万2200点 "松山の宝"

「ことば」をまちづくりに生かそうと募集した前回の「だから、ことば」から10年。「絆(きずな)」をテーマとした「だから、ことば!!大募集2010」に国内外から1万2200点の作品が寄せられ、入選25点(優秀賞3点・入賞22点)の表彰式が、2月20日に総合コミュニティセンターで開催されました。(受賞者の敬称略)

道後温泉駅を出発する優秀賞が掲示された路面電車

7メートルの懸垂幕に囲まれた表彰式の会場

表彰式には、受賞者ら約40人が参加。野志市長は「応募作品すべてが松山の宝です」とあいさつし、ゲスト審査員の新井満さんは「入選作品はいいキャッチコピーです」と話しました。

会場には作品をデザインした縦7メートルの懸垂幕がつるされ、3月末まで展示されます。また優秀賞は市内電車の側面に、ほかの作品も4月以降、松山城リフト下などに掲示され、まちをことばの魅力で彩ります。

亡き父の靴 履いて出かける入社式

市長賞　美山 重功(千葉県)

このたびは優秀賞に選出していただき、ありがとうございます。これは20年前に亡くなった父を思い出しながら作った実話の「だから、ことば」なので、うれしさはひとしおです。

うちら電源切れても 繋がっとるよ。

ことばのちから賞　田中 海優(新浜町)

「絆」と聞いてすぐに「携帯電話」が頭に浮かびました。メールで友達とつながっていることより、心と心でつながっていたいと思い、この作品を作りました。

みんなの願いを ぎゅっ と握って生まれてきたんだね

ゲスト審査員 新井満賞　半田 和美(別府町)

3人の子どもが誕生した日を思い出して作りました。たくさんの人の思いを受けて生まれた子どもたちだからこそ、幸せになってほしいといつも願っています。

入賞22作品

「宝物だ」と言ってくれた
あなたが私の、タカラモノです。
川村 陽佳(京都府)

退職し 帰りました松山に
還暦過ぎて マドンナと
松浦 史郎(儀式)

きみと ずっと なかよし
山田 繁子(兵庫県)

ばあちゃんうちおいでや
安高 真由美(上伊台町)

古本屋で買った本に、
誰かの栞がはさまっていた
鉄琴サジタリウス(福岡県)

介護椅子 母の笑いは ハヒフヘホ
上野 翠(兵庫県)

父さんの汚れた作業着
どんなヒーローよりも
カッコいい、今でもね
宮本 裕志(東京都)

僕の名を言えなくても
僕の顔を忘れても あなたは僕の父。
石川 幸秀(静岡県)

祖父と父と僕の耳の形は同じらしい。
不思議でうれしい。
西村 良輔(持田町二丁目)

方言まるだしのその声が、
イッキに故郷を連れてくる。
古賀 三鈴(大分県)

「もう、おこるよ!」
もう、おこっとるくせに! ねえ、母さん♥
吉田 浩美(小浜)

赤い糸 50年経ったら 金の糸
カワカク(神奈川県)

しあわせも
リンゴのように分ける母
橋立 英樹(新潟県)

お母さんが 弟を「ギュッ」
今度はぼくかな ドッキドキ
中矢 茂斗(西垣生町)

もしも道をそれたって
家族みんながカーナビです
大林 圭子(福岡県)

母さんの涙は
ゲンコツより強烈な先制パンチでした
のりりん(福岡県)

縁 あってライバル
無色(神奈川県)

「どうぞ」と8歳 「ありがとう」と80歳
熊本 芳郎(山口県)

幽霊はコワイけど、
おじいちゃんになら会いたいな。
渡辺 英雄(愛知県)

弟が、ないていたから 笑わせた。
加賀山 高輝(新石手)

おばあちゃんとつくる、
いなりずしは、たのしいね。
寺岡 泰義(持田町一丁目)

「心と心がつながれば、
不思議な力が湧いてくる」
藤田 奈穂(土手内)

お問い合わせは、国際文化振興課☎948-6634・FAX943-9001へ

保存してください。いつかまた お役に立ちます